

大分医療センター
広報誌

vol. 15
2021年

あいしん 大分

新任のご挨拶	2
連携医療機関のご紹介	
在宅支援クリニック すばる	6
みゆきクリニック	7
医療安全研修に	
eラーニングを導入して	8
診療科紹介 代謝・内分泌内科	9
永年勤続表彰	10
新任挨拶	12
人事異動	13
外来診察医担当表	16



慈恩の滝（玖珠町）（撮影：栄養管理室 春田桃香）

■ 新任のご挨拶

新任のご挨拶

院長
奈須 伸吉



2021年4月より大分医療センターの院長に就任しました、奈須伸吉です。生まれは梨の産地の大分県大分郡庄内町（現由布市庄内町）で、1986年に大分医科大学を卒業しました。縁有ってこの地に赴任し当院勤務は通算24年目になります。昨年までの4年間は副院長を務めましたが、この度、穴井秀明前院長の後を引き継ぎました。専門は泌尿器科で、現在も外来診療を続けています。

昨年度、当院は大分県下最多の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行いました。その間に2度の院内クラスター発生がありました。患者さんと当院職員や関連医療機関の皆様には大変ご苦勞をお掛けしましたが、患者さんのご協力と全職員の努力と辛抱、関係機関のご協力を得て、いずれのクラスターも収束しました。現在は感染症流行第4波の真ただ中で、当院は新型コロナウイルス感染症診療の最前線に立ち、感染患者を多数受け入れて治療しています。同時に、可能な限り救

急医療と一般診療も行っており、当院の職員には大変苦勞を掛けています。ウイルスパンデミック期は平穏な時代とは違い、医療従事者には目に見えない身体的・精神的負担が掛かります。当院の職員の皆様には、どうかご自身の生活を大切にしながら上手に気分転換をしながら、心に少しでも余裕を持って働いていただきたいです。私も、休日の家庭菜園を楽しみにしています。

今春就任するに当たり、大分医療センターの目標を決めて当院職員に知らせましたのでご紹介します。最初の目標は、「共同体の一員として互いを尊重し思いやる姿勢を持つ。」です。苦しい時期には人と人との分断が起こりがちなのですが、こういう時期だからこそお互いが大切な仲間であることを意識すべきで、「分断の魔の手」に惑わされないようにしてほしいのです。次は「医療のプロフェッショナルとしての意識を強く持ち、部門目標の達成を目指す。」です。一世紀に一度のウイルスパンデミックに遭遇して、私を含む

職員はとても大変です。しかし、この時期に生きて働いていることを決して不幸とは思わないでほしいのです。例えば、プロの腕を磨けるまたとない機会が来たとポジティブに考えることができる職員が一人でも多く居ると嬉しいですね。もう一つの目標は、「医療安全と感染対策の基本ルールを身に着ける。」です。もちろん、当院の職員はこの基本ルールについての知識はもっていますが、忙しい時にも実行できるかどうか肝腎なところですね。苦労しながら習得したことは、しっかりと身に着いて自然に行動に表れるようになります。感染対策に限らず、技術やルールを身に着けるためのコツは“やろうとする意志と反復”だと思います。今がしっかりと身に着けるチャンスだと思えばベストですね。やがてウイルスパンデミック終息後の時代が訪れます。今しっかりとやっておけば、終息後の時代に向けての準備が着々と進むので、後々の苦労は減ります。以上、大分医療センターの主な病院目標をご紹介します。

大分県の感染流行第4波は長期化していますが、自治体からより強力な感染対策は出されていません。当院では、コロナ専用病棟の病床利用率が100%を超えることもあり、全職員が必死に頑張っています。県内の新型コロナ感染症患者受け入れ医療機関の医療従事者は、強い使命感を持って感染患者の治療を行っていますし、全医療機関の従事者は大変苦労しながら働いているだけでなく、一般の県民よりはるかに強い生活と行動の自粛と辛抱を強いられています。ところが、第4波流行中のこの時期にあっても、患者の一部に多人数での会食やカラオケクラスターが原因で感染

したケースが含まれているのを見ると、一部の県民と医療従事者との間に感染対策レベルに大きな格差がある事実には驚かされました。全大分県民と医療従事者の願いは早期のウイルスパンデミックの終息であり全く同じはずですが、責任を持って感染患者を引き受けるのは我々ですが、感染流行を食い止める主役は一般県民の皆様です。大分県民の皆様が、医療従事者にエールを送っていただいていることには大変感謝していますが、今しばらくの間は生活と行動の自粛を徹底していただき、オール大分県でパンデミックの早期終息を目指しましょう。私も当院の職員とともに辛抱を続けてゆきますので、何卒よろしく願いいたします。



副院長就任挨拶

副院長 中村 雄介



コロナが流行し、オリンピック開催が危ぶまれる中、令和3年4月1日付けで副院長を拝命いたしました。診療だけでなく、病院・スタッフ、地域との係わり、将来の方策について考えていく役割となり、職責を果たせるかどうか大変に気がかりであります。至らないところばかりですが、よろしくお願いいたします。

ジム通い、カラオケ、飲み会などの、従来のストレス解消法が遠ざけられ、巣ごもりが良し、とされる鬱々とした昨今です。人とのつながりは大切にしたいのに、対面で会話ができない歯がゆい状況が続いています。人はコミュニケーションを欲しています。リモートで、コミュニケーション（ZOOM、Facetime やチャット、インターネット勉強会など）をすでに実施しているひとも多いでしょう。IT ネイティブの世代だけでなく、高齢の方でもシンプルな仕組みであれば、オンライン学習など利用されていると聞きます。

2025 年も遠くない少子高齢化時代に、医療は分業化が進み、自分の専門外の職種と情報を共有することは必須となっています。安全安心の医療を提供するためには、他者との協力なしではやっていけません。コミュニケーションは、信頼関係の構築や精神的な充足、仕事の生産性向上において、とても重要なツールです。

コミュニケーションを滑らかにするには、まず、お互いに「話しやすい雰囲気」を作ることから始まります。意見が自分のものと違っていても、相手を尊重することから会話が始まります（多様性）。コミュニケーションを円滑に勤めていける能力は大きな資産です。

人間は、大型の動物に比べれば、体力面で劣ります。個であった人間は言語と情報伝達方法を獲得すると、集団として能力をもち、他の動物に対し優位に活動できるようになりました。言い換えれば、高度なコミュニケーション能力が人類の発展を支えてきたのです。

アンケート（三菱総研）によると、コロナ禍（緊急事態宣言発出以降）において、家族や友人、人とのつながり・コミュニケーションを大切にする人が増えているそうです。家庭はもちろん、職場、地域において、目的のためにコミュニケーション力を駆使し、バトンリレーが達成されたときには、さぞかし気持ちがいいことでしょう。ふだんより、お互いにコミュニケーション能力を向上させる工夫をしていきたいものです。

統括診療部長 就任挨拶

統括診療部長

梶 島 章



本年4月より、大分医療センター統括診療部長を拝命致しました。

平成29年7月に当院外科に着任し、令和元年10月より当院外科部長を拝命致し、1年6ヶ月が経過しました。この間に、2度コロナクラスターを経験し、数ヶ月にわたり満足に手術ができない時期を2度経験しました。外科・手術の回復と再々クラスター防止に苦心する日々でした。外来・病棟・手術室と日々現場で開けてくれていました。それが、4月からは会議・委員会・他職種の方々とのミーティングが急増し、現場を離れることが多くなってきました。外科の臨床は、矢田消化器外科部長・高祖呼吸器外科部長に託することが大になってきました。今までは「外科・手術・外科病棟」を中心に考える日々でした。今後は、外科の枠を超え、病院全体の運営・地域医療の拡充を広く考える必要があると考えさせられました。

上記を踏まえ、統括診療部長として何をすべきか？自分の立ち位置はどこなのか？を考えました。若輩で

ある私には、中村前統括診療部長（現副院長）のような俯瞰的洞察力や包容力は有りません。現在、良質な医療を実現するためには「チーム医療」が重要となってきました。臆気ながらでは有りますが、大分医療センターと周辺地域の「チーム医療」の発展のための「バイプレイヤー・サポーター」のような存在になれたらと考えます。病院（院長・副院長）の目指す方向に診療部をまとめることが、統括診療部長の主題と考えます。まずは、幅広くスタッフと言葉を交わし、「話しやすい」幹部の一人となり、病院の目指すものや方針をより正確に具体的に情報発信していきたいと思えます。次に、各科の専門医師が円滑に診療に専念できる環境、また、必要時は科を超えてスムーズに連携できるようなチーム医療体制を作りたいと思えます。加えて、若手医師がのびのびと医療でき、意見の言える様な風通しのいい環境を作りたいと思えます。

現在、当院はコロナウイルス感染蔓延に対する重点治療のため、救急診療・一般診療に制限をかけざるを得ない状態です。連携医療機関の先生方や地域の皆様にはご不便をおかけしており、申し訳ございません。ただ、いずれはコロナ禍も終わりが来るはずで、ポストコロナ期に向け、また皆様に必要とさせていただけるように体制と整えておきたいと存じます。

ご挨拶と称し、とりとめのない話を長々といたしました。今後ともご指導とご愛顧をよろしくお願い致します。

臨床研究部長 就任挨拶

臨床研究部長

有 川 雅 也



2021年4月より臨床研究部長を拝命することになりました、循環器内科の有川です。

私は、1995年に大分医科大学（現大分大学）卒業し、循環器内科医としてスタートして以来、複数の病院に勤務し、2007年より当院勤務となりました。主に、虚血性心臓病に対する冠動脈インターベンション治療（PCI）を中心に診療してきました。それから15年近くが経過しました。これだけ長い間診療を続けていると、患者さんのお役に立てて嬉しかったこと、充実感の方がもちろん多かったのですが、当然、順調に事が進まず、苦しかったこと、また、状況の重大さに逃げ出したいことなど、いろいろとありました。

ただ、ここまでやってこられたのも、当科の歴代のスタッフを含めた同僚医師、各科の先生方、看護師さん、その他のコメディカルの方々の支えのおかげだと思っています。もちろん、家族（妻、長女、長男）の協力にも、とても感謝しています。

これから、臨床研究部長として何ができるのか、何をおこなっていくべきかはまだ思案中ではありますが、これまで支えてもらっていた分を少しでも皆様に恩返しできるように、より精進していきたいと思えます。まだまだ、コロナ禍で不安定な時期が続きますが、いっしょにがんばっていきましょう。どうぞよろしくお願い致します。

（5年程前、膝、腰、首の痛みなどの体力の衰えを急激に感じ出したため、ランニングを始めました。それにより、体調不良は改善し、それにもまして、ランニングは自分との闘い？であるため、時間のかかる複雑なPCI時も以前より集中力を切らさずに完結できるようになりました。まだ、ハーフマラソンの経験しかありませんが、コロナ禍が落ち着いたなら、是非ともフルマラソンに挑戦したいと思っています。）



連携医療機関のご紹介

社会医療法人 敬和会 在宅支援クリニック すばる

所在地	〒870-0147 大分市大字小池原1021
TEL/FAX	097-551-1767 / 097-551-1722
診療科目	内科・訪問診療・がん緩和ケア
病床数	なし
診療時間	午前 月～土 8:30～12:00 午後 月・火・木・金 13:00～17:30
休診日	日曜日・祝日・水曜日と土曜日の午後



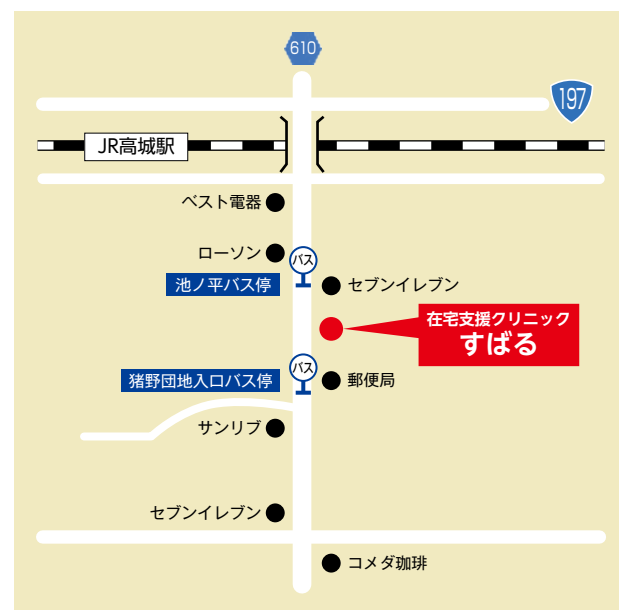
院長
姫野 浩毅



緩和ケア部長
伊東 威



当院は2014年10月に開設し、脳脊髄神経疾患・神経難病・心血管障害・認知症・呼吸器疾患・膠原病等の非がん疾患の訪問診療を主軸として地域医療に携わって参りました。2021年4月から日本緩和医療学会認定医資格を有する医師が常勤で加わり、新たにがん終末期を専門とする「在宅緩和ケアチーム」を編成しました。今後は、「非がん疾患の訪問診療」並びに「がん終末期の在宅緩和ケア」に取り組んで参ります。訪問診療のご要望がありましたら、お気軽に相談ください。



医療法人 優生会 みゆきクリニック

所在地	〒870-0267 大分市大字城原1769番5
TEL/FAX	097-578-7852 / 097-578-7853
診療科目	整形外科、リハビリテーション科
病床数	なし
診療時間	午前 月～土 9:00～12:30 午後 月・火・木・金 14:00～17:30
休診日	日曜日・祝日・水曜日と土曜日の午後



院長
佐藤 美由紀



2020年4月に大分市城原に開院しました。当院では、関節痛や腰痛、外傷などの一般的な整形外科診療に加えて、内反足などの運動器の先天異常や、乳児の股関節検診、小児期の運動器疾患や未就学のお子さんの発達に関わることにご相談も承っております。

新生児からご高齢の方まで運動器に関することであれば、幅広く診療いたしますので、お気軽にご相談ください。





医療安全研修に

eラーニングを導入して

医療安全加算に関連する全職員対象の研修においては、集合研修として同じ内容を6回開催してきました。しかし、勤務時間内に1時間の研修会を開催することで、企画側の負担や受講者の業務を切迫する状況がありました。

COVID-19の感染拡大などを受け、集合しての研修の実施の難しさや働き方改革の取り組みを推進する中、インシデントシステムに新たにeラーニングを取り入れた研修が実施できるようにシステム変更を行いました。

研修内容は、当院で発生した事例を活用した内容で、30分ほどの視聴後にテストとアンケートに回答して研修終了としました。システム上では、閲覧した時間、回数、テストの合格率より、職員個々の学習の進捗状況が確認できるようになりました。

研修後のアンケートの意見では、「自分の業務内容に応じ視聴できてよい」「集合教育より学習しやすい」などがあり、eラーニング研修を推奨する意見を多く頂きました。また、集合教育より、受講率は3～4倍へ上昇しました。

今年度も事例を活用し、医療安全の推進に役立つ内容を発信していきたいと思えます。

(医療安全管理係長 安藤万寿美)

2020年度 医療安全研修の実施状況

第1回	虐待について	318名 (77.2%)
第2回	放射線科教育訓練とMRI安全講習	112名 (86.2%)
第3回	院内のクレーム(暴言)対応	399名 (100%)
第4回	院内輸血研修	213名 (80.7%)
第5回	医療ガス研修	242名 (77.8%)
第6回	処方カレンダーの有効利用	243名 (93.8%)
第7回	メンタル・ハラスメント研修	392名 (100%)
第8回	医療機器研修	193名 (75.5%)

代謝・内分泌内科

Metabolism
Endocrinology

代謝・内分泌内科部長
嶋崎 貴信



大分医療センター代謝・内分泌内科についてご紹介させていただきます。

2020年6月より、それまでの2人から3人体制となり増員となりました。2人体制の時は外来での新患・再来患者さんへ診察待ちで負担をかけることが多かったのですが、3人体制となり新患担当と再来担当を分けて行う体制に変え、従来よりも効率的に外来診療を行えるようになりました。これは大分大学内分泌代謝・膠原病・腎臓内科講座のご厚意によるものですが、医局から派遣される先生方にとっても魅力ある環境づくりに注意を払っています。近年、専門医取得の希望が高まりつつあり、少しでも取得へのハードルが減らせるよう大学病院と連携し、当院は日本内分泌学会の連携医療施設と日本糖尿病学会の認定教育施設(Ⅱ)に認定されています。

昨年2020年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け、当科においても外来・入院診療に大きな影響がありました。当院外来に通院されていた糖尿病患者さんで治療を中断される方や、COVID-19を恐れ自宅にこもりがちになり気分の変調や日常生活動作が低下した方がおられました。通院を再開した直後は血糖コントロールの悪化もみられ、定期的な外来フォローの大切さを改めて痛感した次第です。当科では外来診療は平日午前を基本としており、患者さんによっては大分東医師会をはじめとした開業医の先生方にご紹介を希望され、地域の先生方に外来フォローをお願いすることがあると思います。今後も地域の先生方にはお世話になりますが、地域との連携を深めつつ糖尿病と内分泌疾患の診療の充実を図りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

永年勤続表彰



30年表彰

勤続30年を迎えて

経営企画室長 **山口剛志**

この度は、永年勤続表彰を賜りありがとうございます。平成3年4月、京都府北部の国立舞鶴病院へ入職して以来、過ぎ去ればあっという間でしたが、色々なことを経験して参りました。どちらかと言うと残念ながら苦しく嫌な事の方がかなり多かった気がしています。しかし、その時々に出会った諸先輩方、仲間に助けられ、励まされ何とかやってこれたのだとつくづく有難く、また懐かしく思い、感謝のことばしかありません。職種柄、2、3年で各地転々と異動しますが、これからも行く先々、一期一会を大切に歩んでいければと思っております。

20年表彰

20年を振り返って

栄養管理室長 **佐藤恭子**

この度は永年勤続表彰を賜り感謝申し上げます。

平成3年に賃金職員で国立小倉病院で採用となり、平成9年に国立別府病院に採用となりました。

あれから20年、賃金職員時代も含め大分医療センターで6つ目の施設となりました。入職した頃の頃は、こんなに長く続ける事ができると思ってもいませんでした。これまで勤務し出会った上司や先輩方、スタッフに恵まれた事で長く続けることが出来たと大変感謝しています。

今後も、周囲への感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導よろしくお願い致します。

永年勤続表彰20年を受賞して

2階病棟副看護師長 **廣田 紘子**

この度は、永年勤続表彰を頂きありがとうございました。

当院に入職しましてから20年が経過しました。その中で、10年目には、認定看護師取得の機会を頂戴し、多くの患者さん、家族との関わりを通して看護における大切なことを学ぶことができました。

ここまで看護職として長きに亘り働くことができたのはひとえに、今まで支えてくださった職員の皆様のおかげとこころより感謝申し上げます。

今後ともご指導の程よろしく願い申し上げます。

20年の感謝を込めて

HCU 副看護師長 **川並 裕美**

この度は20年表彰を賜り厚くお礼申し上げます。この20年で、病棟・外来・手術室・HCUと勤務する中で、患者さんや一緒に働く皆様から看護の楽しさ・喜びを教えて頂き人として、職業人として成長することができました。その反面、子育てとの両立や副看護師長に昇任し自分の未熟さにまだまだ悩む日々です。若手のつもりでいたのですが、勤続20年なんだと自分自身が今一番驚いています。長い年月を感じずに、悩みながらも楽しく20年以上働き続けてこられたのは、よき上司と優秀なスタッフに恵まれたおかげだと大変感謝しています。今後とも御指導よろしく願いいたします。

永年勤続表彰

2階病棟看護師 **佐藤 千秋**

このたびは、20年の永年勤続表彰をいただきありがとうございます。

看護学校を卒業し福岡に就職。帰郷して大分医療センターへ就職し20年が経ち、外科病棟、手術室勤務とさまざまな経験をさせていただきました。これまで働き続けてこられたのは、よき上司とスタッフの皆様の支えがあったからこそと大変感謝しております。これからも患者さんに寄り添い、信頼される看護、安心できる看護を提供できるよう、自分自身も一層努力し頑張っていきたいと思えます。今後ともご指導よろしく願いいたします。

感謝をこめて

外来看護師 **渡邊 加奈子**

このたび20年の勤続永年表彰をしていただきありがとうございます。表彰を受けるにあたり、20年も看護師として仕事をすることができていたのかと思ひ月日の早さに驚いてしまいました。仕事を続けることができたのも一緒に仕事をする仲間の支えがあったからだと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。外来看護は、治療を継続しながら社会生活を送る人々が安心して生活ができるように支援することと考えます。糖尿病看護に関してフットケアを通じて指導を行い合併症予防に努めています。自分のあこがれていた看護師像に恥じないように日々努力を重ね、社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

20年を振り返って

このたびは20年表彰を賜り厚くお礼申し上げます。子育てとの両立をしながらもこれまで仕事を続けてこれたことは、支えてくださったスタッフの方々のかけと心より感謝しております。

大分中央看護学校卒業後、国立大板病院に就職し様々な経験をさせて頂きました。

今年度、20年を機に訪問看護ステーション「あい

訪問看護ステーション看護師 **二宮 真子**

しん」に異動となり、在宅医療を支える看護を提供できることをうれしく思っています。利用者さんが住みなれた環境でその方らしく安心して療養生活が行えるよう少しでも貢献していきたいと考えております。より一層努力していきますので、今後ともご指導よろしく願いいたします。

新任挨拶



薬剤部長
竹添 達也
(たけぞえ たつや)

この度大分医療センター勤務となりました薬剤部の竹添と申します。

基本理念にもあります「愛の心・手」で病める人々に寄り添うことを少しでもサポートできるよう微力ではありますが努力してまいります。

現在新型コロナウイルス感染症で大変な時期であり、赴任当日にもワクチンが薬剤部に届き今まで資料・報道等でしか目にする事のなかったコミナティやディープフリーザーを実際に見て、昨年度より最前線で業務されてきた職員の皆様のご苦労を改めて感じました。

まだまだ予断を許さない状況ではありますが、私も職員の皆様と一丸となって対応に取り組んでいきたいと思っております。

幸い病院・薬剤部の雰囲気はとてもあたたかく、これからの業務に気持ちよく取り組むことができそうです。

プライベートでは体を動かすことが好きで、45歳で始めたフットサルや沖縄赴任中には50歳で初マラソンも走りました。

状況が改善され、大会等が開催再開されることを望みながら日々できる範囲での個人鍛錬を行っていききたいと思っております。



診療放射線技師長
二保 忠紀
(にほ ただのり)

8年ぶりに当院に帰ってきました。1日も早く環境に慣れ、貢献できるよう頑張ります。



副看護部長
田中 陽子
(たなか ようこ)

大分での勤務は6年ぶり2度目となります。病院に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。



看護師長
萬代 加代子
(ばんだい かよこ)

今度、山口県の岩国医療センターから赴任しました。「何事も楽しんで取り組む。」を抱負に頑張ります。



庶務班長
菊池 仁
(きくち ひとし)

熊本医療センターより参りました菊池と申します。

地元の大分県にある当院に少しでも貢献できるよう頑張ります。



専門職
毛利 安則
(もうり やすのり)

宮古島より参りました毛利です。もうすぐ3歳の息子と散歩するのが趣味です。よろしくお願いたします。

人事異動

退職・転出等

発令事項	発令日	職名	氏名	備考
医(一)				
定年	R3. 3. 31	院長	穴井 秀明	
辞職	R3. 3. 31	外科医長	梅田 健二	中津市民病院
辞職	R3. 3. 31	麻酔科医師	藤田 和也	へつぎ病院
辞職	R3. 3. 31	放射線科医師	牧瀬 智	中津市民病院
辞職	R3. 3. 31	泌尿器科医師	高橋 剛	新別府病院
辞職	R3. 3. 31	消化器内科医師	草津 工喜	アルメイダ病院
辞職	R3. 3. 31	消化器内科医師	福田 春菜	大分大学
辞職	R3. 3. 31	呼吸器内科医長	横山 敦	大分大学
辞職	R3. 3. 31	循環器内科医師	和田 雅登	大分大学
辞職	R3. 3. 31	代謝・内分泌内科医師	野中 良平	津久見中央病院
辞職	R3. 3. 31	臨床研修医	石田 太郎	
辞職	R3. 3. 31	臨床研修医	野口恵美子	
辞職	R3. 3. 31	臨床研修医	伊藤 秀幸	
配置換	R3. 4. 1	外科医師	是久翔太郎	福岡東医療センター
辞職	R3. 5. 31	消化器内科医師	平江 麻衣	
辞職	R3. 5. 31	代謝・内分泌内科医師	桑畑 真亮	大分赤十字病院
医(二)				
定年	R3. 3. 31	薬剤部長	吉野 裕統	
辞職	R3. 3. 31	治験主任	森田 千裕	
辞職	R3. 3. 31	薬剤師	福元 浩一	
配置換	R3. 3. 31	栄養士	平八重佳奈	星塚敬愛園
昇任	R3. 4. 1	製剤主任	下村 真代	西別府病院
配置換	R3. 4. 1	診療放射線技師長	渋谷 充	嬉野医療センター
昇任	R3. 4. 1	RI 検査主任	増井飛沙人	福岡東医療センター
昇任	R3. 4. 1	診療放射線技師	里園 邦仁	長崎医療センター
昇任	R3. 4. 1	副臨床検査技師長	宮久 禎	佐賀病院
配置換	R3. 4. 1	臨床検査技師	渡邊 亜矢	福岡東医療センター
配置換	R3. 4. 1	運動療法主任	西崎 武文	別府医療センター

発令事項	発令日	職名	氏名	備考
配置換	R3. 4. 1	主任作業療法士	大黒 陽蔵	福岡東医療センター
辞職	R3. 6. 4	理学療法士	原田 愛子	
医(三)				
定年	R3. 3. 31	看護師	小笹 美幸	4月より再雇用
定年	R3. 3. 31	看護師	飛鷹 勝代	
定年	R3. 3. 31	看護師	首藤 里香	4月より再雇用
定年	R3. 3. 31	看護師	下郡由美子	4月より再雇用
定年	R3. 3. 31	看護師	岡村 征代	4月より再雇用
辞職	R3. 3. 31	看護師	上野 愛	
辞職	R3. 3. 31	看護師	安藤 佳世	
辞職	R3. 3. 31	看護師	足立 恵美	
辞職	R3. 3. 31	看護師	渋谷 水紀	
辞職	R3. 3. 31	看護師	岩本 久実	期間職員
配置換	R3. 4. 1	副看護部長	南利 朱美	熊本医療センター
配置換	R3. 4. 1	看護師長	姫野 里美	別府医療センター
昇任	R3. 4. 1	副看護師長	高瀬 由香	西別府病院
辞職	R3. 4. 30	看護師	羽立 有香	
辞職	R3. 5. 31	看護師	木許 結菜	
事務職				
辞職	R3. 3. 31	医療社会事業専門員	椎原 優子	
昇任	R3. 4. 1	庶務班長	坂本 昌則	別府医療センター
配置換	R3. 4. 1	専門職	徳久 亮	小倉医療センター
昇任	R3. 4. 1	契約係長	山本 悠介	西別府病院
昇任	R3. 4. 1	一般係員	高園 和明	大牟田病院
非常勤				
辞職	R3. 3. 31	業務技術員	小笠原安男	
辞職	R3. 4. 30	医師事務作業補助者	高橋 敬子	

採用・転入等

発令事項	発令日	職名	氏名	備考	発令事項	発令日	職名	氏名	備考
医(一)					医(三)				
昇任	R3. 4. 1	院長	奈須 伸吉		配置換	R3. 4. 1	副看護部長	田中 陽子	熊本再春医療センター
昇任	R3. 4. 1	副院長	中村 雄介		配置換	R3. 4. 1	看護師長	萬代加代子	岩国医療センター
昇任	R3. 4. 1	統括診療部長	梶島 章		昇任	R3. 4. 1	副看護部長	西本 亜季	
併任	R3. 4. 1	臨床研究部長	有川 雅也		昇任	R3. 4. 1	副看護部長	松尾 知恵	
昇任	R3. 4. 1	消化器内科部長	山下 勉		採用	R3. 4. 1	看護師	伊藤美由記	
昇任	R3. 4. 1	消化器内科部長	大塚雄一郎		採用	R3. 4. 1	看護師	佐保賢大朗	
任命	R3. 4. 1	消化器外科部長	矢田 一宏		採用	R3. 4. 1	看護師	安部彩奈恵	
採用	R3. 4. 1	外科医長	橋本 直隆	福岡歯科大学医科 歯科総合病院	採用	R3. 4. 1	看護師	阿南 瑠莉	
採用	R3. 4. 1	放射線科医長	高橋 浩平	九州労災病院	採用	R3. 4. 1	看護師	石田早優美	
採用	R3. 4. 1	泌尿器科医長	山中 直行	大分大学	採用	R3. 4. 1	看護師	甲斐 寧々	
採用	R3. 4. 1	呼吸器内科医長	山本 堯	へつぎ病院	採用	R3. 4. 1	看護師	川上 穂香	
採用	R3. 5. 1	婦人科医長	河邊 史子	豊後大野市民病院	採用	R3. 4. 1	看護師	高田 咲希	
配置換	R3. 4. 1	外科医師	笠木 勇太	福岡東医療センター	採用	R3. 4. 1	看護師	高橋 美有	
採用	R3. 4. 1	外科医師	波田 祥平	福岡総合病院	採用	R3. 4. 1	看護師	西田 智尋	
採用	R3. 4. 1	麻酔科医師	米原 敬博	大分大学	採用	R3. 4. 1	看護師	森崎 友斗	
採用	R3. 4. 1	放射線科医師	高木 勝弘	九州大学病院	採用	R3. 4. 1	看護師	矢野 尚樹	
採用	R3. 4. 1	泌尿器科医師	河野 香織	鶴見病院	採用	R3. 4. 1	看護師	佐藤ふたば	
採用	R3. 4. 1	消化器内科医師	半澤 誠人	鶴見病院	採用	R3. 4. 1	看護師	稗田 早紀	
採用	R3. 4. 1	消化器内科医師	濱野 朋恵	大分大学	採用	R3. 4. 1	看護師	波戸 麻耶	
採用	R3. 4. 1	呼吸器内科医師	平山 義明	大分大学	採用	R3. 4. 1	看護師	上島 麻耶	
採用	R3. 4. 1	循環器内科医師	小野 慎平	大分大学	事務職				
採用	R3. 4. 1	代謝・内分泌内科医師	野村 卓也	大分大学	配置換	R3. 4. 1	庶務班長	菊池 仁	熊本医療センター
採用	R3. 6. 1	代謝・内分泌内科医師	佐田こころ	鶴見病院	配置換	R3. 4. 1	専門職	毛利 安則	宮古南静園
医(二)					昇任	R3. 4. 1	契約係長	上杉 和輝	九州がんセンター
昇任	R3. 4. 1	薬剤部長	竹添 達也	長崎病院	採用	R3. 4. 1	庶務係	有本馨菜子	
配置換	R3. 4. 1	治験主任	山尾 卓也	福岡東医療センター	採用	R3. 4. 1	医療社会事業専門員	橋本由可里	
配置換	R3. 4. 1	調剤主任	青木 孝喜	沖縄愛楽園	非常勤				
配置換	R3. 4. 1	診療放射線技師長	二保 忠紀	西別府病院	採用	R3. 4. 1	業務技術員	大城 敦	
配置換	R3. 4. 1	RI検査主任	森山 浩二	熊本再春医療センター	採用	R3. 4. 1	業務技術員	佐藤 賢弘	
配置換	R3. 4. 1	診療放射線技師	高橋 亨	都城医療センター	採用	R3. 5. 6	医師事務作業補助者	高橋 宏枝	
配置換	R3. 4. 1	副臨床検査技師長	清家 直樹	沖縄愛楽園	採用	R3. 5. 6	薬剤事務助手	竹内 真美	
配置換	R3. 4. 1	臨床検査技師	中野 千絵	沖縄愛楽園	採用	R3. 5. 20	薬剤事務助手	富崎めぐみ	
採用	R3. 4. 1	栄養士	大原 花穂						
配置換	R3. 4. 1	運動療法主任	河野 泰之	別府医療センター					
昇任	R3. 4. 1	主任作業療法士	米澤 武人	長崎医療センター					
採用	R3. 4. 1	作業療法士	井之上歩加						
採用	R3. 4. 1	言語聴覚士	辻 啓嗣						



基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

基本方針

- 365日24時間断らない診療を目指します
- 大分県地域医療支援病院として、地域へ貢献します
- 大分県がん診療連携協力病院として、がん診療の充実に努めます
- 垣根を越えた連携によるチーム医療の充実に努めます
- 地域に根ざした積極的な広報活動と情報発信に努めます
- 安定した医療を提供するため、健全経営を志向します

大分医療センターのロゴマークについて

全体のコンセプト



Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

- 「緑と赤」… 昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
- 「青」…… 大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
- 「黒」…… 地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。



表紙の写真や大分医療センターのなつかしい写真を募集します。
ぜひ編集委員へご提供ください！

編集委員

委員長 岡田 さおり

委員 秋好 輝雪 石川 秀利 森崎 久美 梅木 祐 村上 英恵 竹田津 雄介

外来診察医担当表

【令和3年7月1日現在】

■ 受付時間 8:30~11:00
 ■ 診察開始時間 8:30~

※予約の変更は月~金の各13:00~15:00にご連絡ください。
 (総合支援センター) ☎ 097-593-1112 fax 097-528-9651

【一般外来】 ※連携医療機関の方は8:30~17:15に総合支援センター(地域医療連携部門)へご連絡ください。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
代謝・内分泌内科		佐田こころ 野村 卓也(新患)	嶋崎 貴信 野村 卓也 佐田こころ(新患)	嶋崎 貴信 佐田こころ 野村 卓也(新患)	嶋崎 貴信 野村 卓也 佐田こころ(新患)	嶋崎 貴信 佐田こころ 野村 卓也(新患)
腎臓内科				竹野 貴志(予約制)		
膠原病内科				安倍いとみ(予約制)	梅木 達仁 (予約制 第1・第3・第5週)	
消化器内科 (肝センター)		半澤 誠人 山下 勉 大塚雄一郎	本田俊一郎 室 豊吉 山下 勉	濱野 朋恵 山下 勉 大塚雄一郎	山下 勉 本田俊一郎	大塚雄一郎 濱野 朋恵 半澤 誠人
工 科		濱野 朋恵	平江 麻衣	平江 麻衣	半澤 誠人	本田俊一郎
循環器内科		有川 雅也 小野 慎平	有川 雅也 棚澤 晃大	吉村誠一郎 棚澤 晃大	吉村誠一郎 小野 慎平	有川 雅也 小野 慎平
呼吸器内科 (呼吸器センター)		大谷 哲史(新患) 宮崎幸太郎	大谷 哲史 平山 義明(新患)	山本 亮(新患) 宮崎幸太郎	大谷 哲史 宮崎幸太郎(新患)	大谷 哲史(新患) 山本 亮
腫瘍内科					西川 和男 ※受付時間8:30~11:00 診療時間8:30~	樋園 和仁(血液疾患) ※受付時間 新患13:00~14:00 再来13:00~15:00 診療時間13:00~
外 科		矢田 一宏 橋本 直隆 一万田充洋(第2・第4月曜)	梶島 章	矢田 一宏 一万田 充洋	橋本 直隆 笠木 勇太	梶島 章 渋田 祥平
乳腺外科		武内 秀也※	※第1・第3月曜日 受付時間10:00~12:00 診療時間10:00~13:00のみ			
心臓血管外科					和田 朋之(13:30~)	
呼吸器外科		(手術日)	高祖 英典	高祖 英典	(手術日)	
整形外科		田畑 知法 川岸 正周	田畑 知法 川岸 正周	(手術日)	田畑 知法 川岸 正周	金曜新患受付10時まで 田畑 知法 川岸 正周
泌尿器科		午前 河野 香織 住野 泰弘 奈須 伸吉	午前(10時まで) 河野 香織(新患) 住野 泰弘(新患) 山中 直行(新患)	午前 河野 香織 住野 泰弘 山中 直行	午前(10時まで) 中島 駿佑(新患) 住野(河野)(新患) 山中 直行(新患)	午前 河野 香織 山中 直行 奈須 伸吉
		新患担当は当科で振分けます。(紹介は「外来担当医」宛て)				
		午後(予約のみ) 各医師で分担				
婦人科		岡田さおり	河邊 史子	岡田さおり(午前) 西田 欣広(午後) ※受付時間14:00~16:30 診療時間14:00~17:00	岡田さおり	河邊 史子
放射線科		高橋 浩平	高木 勝弘(午前) 本村 有史(午後)	高橋 浩平	高木 勝弘(午前) 本村 有史(午後)	高橋 浩平
内視鏡 (胃腸センター)		本田俊一郎	大塚雄一郎 半澤 誠人 濱野 朋恵	本田俊一郎 半澤 誠人	大塚雄一郎 濱野 朋恵	山下 勉
内科系疾患で 専門診療科の判断が困難 な場合の担当科		消化器内科	代謝・内分泌内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科

【特殊外来のご案内】 ※完全予約制となっておりますので、下記にご連絡ください。

ひまん外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 14:00~16:00	TEL 097-593-1111 (内線235)
ストーマ外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 9:00~12:00	TEL 097-593-1111 (内線711)
緩和ケア外来	毎週 水曜日 (祝日を除く)	診察時間 11:00~12:00	TEL 097-593-1111 (内線739)
フットケア外来	第2・第4 火曜日 (祝日を除く)	診察時間 8:30~11:00	TEL 097-593-1111 (内線235)



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人
国立病院機構

大分医療センター

<https://oita.hosp.go.jp>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 総合支援センター直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651